

# 災害発生後の市町村の役割

## ～復旧から復興へ～

近年、日本各地で地震、台風、水害等の大規模災害が多発しています。しかし、市町村では大規模災害の被災地となり復旧などの対応を経験した職員がいるとは限らないことから知識や経験が不足しており、あらかじめ災害発生後の対応を想定した準備が必要です。

この研修では、大規模災害発生後の被害調査や罹災証明書の発行、さらに仮設住宅の建設、入居など、復旧～復興時(特に復旧時)の法的・制度的な枠組みを理解するとともに事例を学び、発災後に、市町村が迅速に被災者の生活再建支援ができるような能力の養成を図ることを目的とします。

### 研修のポイント

- ①復旧～復興にかかる法的・制度的枠組みを理解する。
- ②被災自治体特有の事務を円滑に進めることができる。
- ③被災者の生活再建支援について事例から学ぶ。

※復興計画策定や、都市計画に関する内容はこの研修の範囲としていません。また、災害直後の市町村の対応については、「災害発生時のマネジメント～対策本部の運営～」(3月1日～3日)研修を実施します。

## 開催要領

**日 程** 平成28年11月7日(月)～11月9日(水) (3日間)

**場 所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

**対 象** 市区町村の防災担当職員および復旧関連事務に携わる職員  
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

**募集人数** 40人  
募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

**宿 泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

**経 費** 10,500円  
上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

**申込期限** 平成28年10月4日(火)まで

**申込方法** JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。  
「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。

**受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

**事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。  
詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

### 問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

## 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

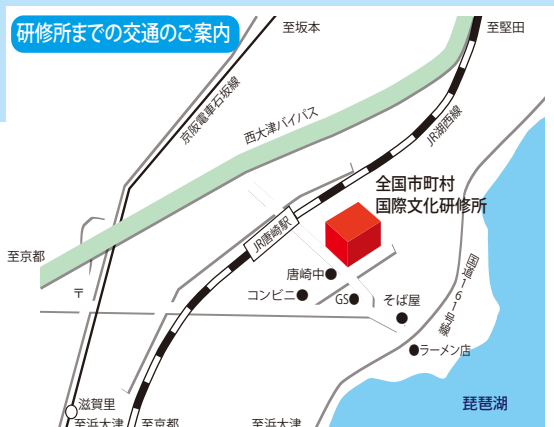
TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] http://www.jiam.jp

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



11/7  
(月曜日)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～14:30 **【講義】復旧・復興にかかる法的・制度的枠組み ～被災地支援の枠組み～**  
内閣府防災担当 企画調整官(事業推進担当) **後藤 隆昭** 氏
- (概要)  
災害発生後の復旧・復興に関する制度的な手順について概略を説明いただけます。また、被災者生活再建支援法についても具体的にお話しいただけます。
- 14:45～17:20 **【講義】災害発生後の市町村の役割 ～復旧から復興にかけて～**  
常葉大学大学院環境防災研究科教授 **重川 希志依** 氏
- (概要)  
災害発生後の復旧から復興期にかけて、市町村職員はどのような役割を果たさないといけないのか、国・都道府県・他市町村・その他の団体等との連携も含めてお話しいただけます。
- 17:45～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

11/8  
(火曜日)

- 9:25～12:00 **【事例紹介】被災後の住民対応 ～被害調査、罹災証明書の発行等～**  
福知山市総務部危機管理室 次長補佐 **森下 邦治** 氏  
財務部税務課 課長補佐 **松本 一芳** 氏  
主任 **山口 秀幸** 氏  
主任 **塩見 卓也** 氏
- (概要)  
平成25年度、26年度と2年連続で大規模な豪雨災害があった福知山市。早急な対応が求められる被害調査、罹災証明書の発行等、どのように進められたのか、具体的にお話しいただけます。
- 13:00～15:00 **【事例紹介】被災後の住民との関わり ～復興支援員の役割～**  
公益社団法人中越防災安全推進機構震災アーカイブス・メモリアルセンター長 **稲垣 文彦** 氏
- (概要)  
仮設住宅での孤独死や関連死等をなくすため、また、被災者の生活再建を支援するため、市町村職員はどのような役割を果たすべきでしょうか。新潟県中越大地震発生直後から災害救援ボランティア活動に携わり、復興支援員制度創設に携わられた稲垣氏よりお話しいただけます。
- 15:15～17:15 **【事例紹介】被災後の住民との関わり ～発生直後から避難所、仮設住宅そして恒久住宅へ～**  
神戸防災技術者の会 **片瀬 範雄** 氏
- (概要)  
住宅が大きな被害に遭った被災者にとって、生活再建にあたって喫緊の課題が「住まい」です。阪神・淡路大震災の経験をもとに、被災直後からの被災者との関わりを含め、被災者の「住まい」をどのように確保していくかお話しいただけます。

11/9  
(水曜日)

- 9:25～12:00 **【演習】災害の復旧・復興にあたって**  
同志社大学社会学部社会学科教授 **立木 茂雄** 氏
- (概要)  
大規模災害に遭った後、市町村職員がどのような役割を果たして復旧・復興に取り組んでいくべきか、また、そのために今何をすべきか等、受講者の皆さんに討議をしていただけます。
- 12:00～12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講  
閉講後、昼食**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM  
メールマガジンの  
お知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。